



環境活動を支える仕組みを整えます

ISO14001の統合認証を取得し、全社が一丸となって環境活動を推進できる体制をとっています。

宝グループ環境方針

1. TaKaRaの企業理念

「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します」
この基本理念に基づいて、宝グループは積極的に環境保全に取り組み、豊かな社会づくりに貢献します。

2. 基本方針

宝グループの業務内容は、宝グループ全体の経営資源配分等グループ戦略の推進やIR活動および酒類・食品・酒精事業全般とこれを支援するマーケティング調査・人材派遣、IT化支援など多岐にわたっています。
これらの活動が環境に与える影響を的確に把握し、地球環境保全に貢献するために、次の基本方針に基づき活動します。

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 地球環境の保全と事業活動の調和を経営の重要課題の一つとして取り組みます。</p> <p>(2) 環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善と汚染の予防に努めます。</p> <p>(3) 環境に関する法規制および組織が同意するその他の要求事項を遵守します。</p> <p>(4) 事業活動全般の環境影響評価を的確に行い、技術的、経済的に可能な範囲で目的・目標を定めて実践し、また定期的に見直すことにより環境パフォーマンスの向上を図ることを約束します。</p> <p>(5) 宝グループが行う事業活動の中、特に以下の項目について優先的に環境保全活動を推進します。</p> <p>①天然資源を大切に、省資源・省エネルギーに努めます。</p> <p>②環境に配慮した商品開発に努めます。</p> <p>③グリーン購入に努めます。</p> | <p>④環境活動への取組み、環境パフォーマンス情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。</p> <p>(6) 本環境方針は、教育啓発活動を通じて宝グループの全構成員に周知するとともに、社員の社会貢献活動への参加を積極的に支援します。なお、本環境方針は、一般の人が入手可能なものにします。</p> |
|---|---|

2004年4月1日

宝ホールディングス株式会社 代表取締役社長

宝酒造株式会社 代表取締役社長

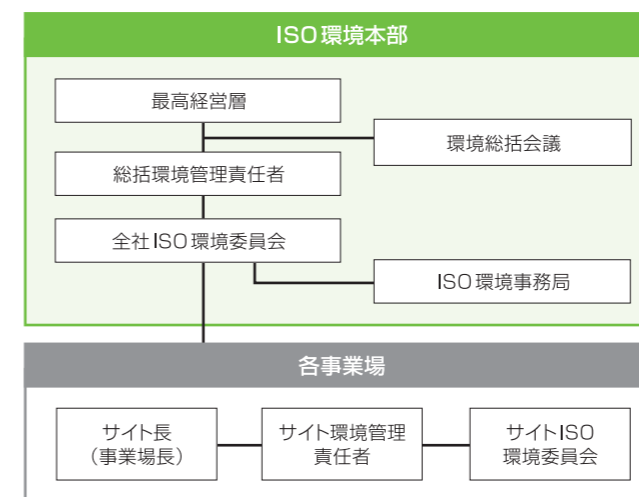
大宮 久

(注) ISO14001:2004における宝グループは、宝ホールディングス(株)、宝酒造(株)、(株)トータルマネジメントビジネス、宝ネットワークシステム(株)で構成されています。

宝グループ環境マネジメントシステム組織図

宝酒造の全工場、全支社、本社、および(株)トータルマネジメントビジネス、宝ネットワークシステム(株)でISO14001の認証を取得しています。2005年1月には事業所単位での認証を統合し、ISO環境本部を中心に中期経営計画とISO14001の目標を連携させるなど、経営と直結した目標に向かって活動しています。各事業場では、環境管理責任者が中心となり具体的な活動を推進しています。

HP 4:ISO14001、9001取得年表



循環型社会形成推進功労者等 環境大臣表彰(伏見工場)

循環型社会形成推進功労者表彰は、廃棄物の発生量の抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)の適切な推進に顕著な功績があった個人、企業、団体を表彰するもので、2008年度には、循環型社会形成推進功労(企業)・3R活動優良企業として伏見工場が表彰されました。伏見工場では工場内のエコステーションを見てわかる「見える化」活動を実施していましたが、さらに魅力あるエコステーションをめざして「魅せる化」活動へと移行し、製造段階で発生する廃棄物を大分類で10、中分類で25の区分けで分別、回収し、布類などの一部を除き、再資源化率99%以上を達成しています。

環境関連法規遵守状況

ISO14001のシステムを有効に利用して定期的なチェックを実施し、法令遵守状況を確認しています。なお2008年度は、水質汚濁に関する基準オーバーと大気汚染に関する記録不備についての2件の是正指導を受けました。速やかに是正処置を行い再発防止の対策を実施しました。また、環境汚染の未然防止の観点から、自主基準やガイドラインも設定しています。

主要な環境関連法規

- 公害関係法規(大気、水質、騒音、振動、土壌汚染、悪臭)
- 廃棄物処理関係法規
- 化学物質管理関係法規(PRTR法、毒物劇物取締法)
- リサイクル関係法規
(容器包装リサイクル法、食品リサイクル法、資源リサイクル法)
- 地球温暖化対策推進法
- 省エネルギー法
- 防災・危険物関係法規 など



表彰状



「魅せる化」にも取り組んだエコステーション